

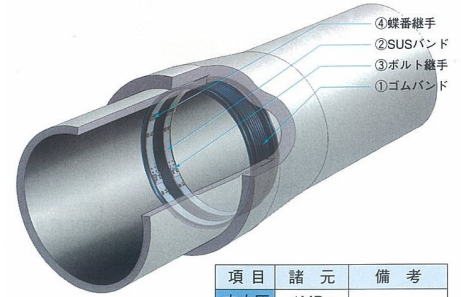
内面バンド工法

● 概要

【内面バンド工法】

内面バンド工法は管(パイプ)ジョイント(継ぎ目、継目、継手、目地)または、鋼管の電蝕孔からの漏水(出水、浸入水)を、口径600mmのマンホール(人孔)から総ての資材を人力で搬入し、管体の内部から補修(修理、補強、止水、修繕)する工法で、ゴム製のスリーブとステンレスのバンドで構成され、その機能は高止水性・伸縮可撓性と低損失水頭特性を有し、老朽管路が耐震継手を備えた管路にリニューアルします。

適用は農業用水、工業用水、水道用水、下水管に使用される、PC管、ヒューム管、FRPM管、ダクタイル鋳鉄管、鋼管、現場打コンクリート管等です。

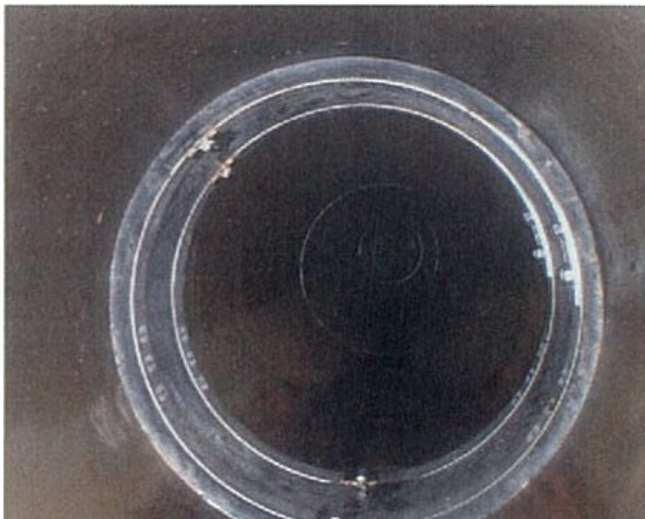


項目	諸元	備考
内水圧	1MPa	
外水圧	0.05MPa	補強で0.1MPa
偏角	5度	
段差	60mm	

耐震補強標準型



施工前



施工後

● 特徴

高止水性

- 内面バンドは水圧と共生します。
- 外水圧型で0.2Mpaまで止水可能。
- 標準型で偏角5度まで設置可能。
- 標準型で段差30mmまで設置可能。
- 伸縮型で偏角10度まで設置可能。
- 伸縮型で段差100mmまで設置可能。
- 伸縮型は継手間隔400mmまで設置可能。
- 管内面磨耗傷深さ5mmまで補修不要。
- 高規格高品質ゴムで耐久性保証。

高伸縮可撓性

- 中越・中越沖地震で安全性実証済。
- 不等沈下に追従し止水性確保。
- 輪荷重による影響を受けず止水性確保。
- 管継手ゴムの経年劣化をカバーし止水性確保。

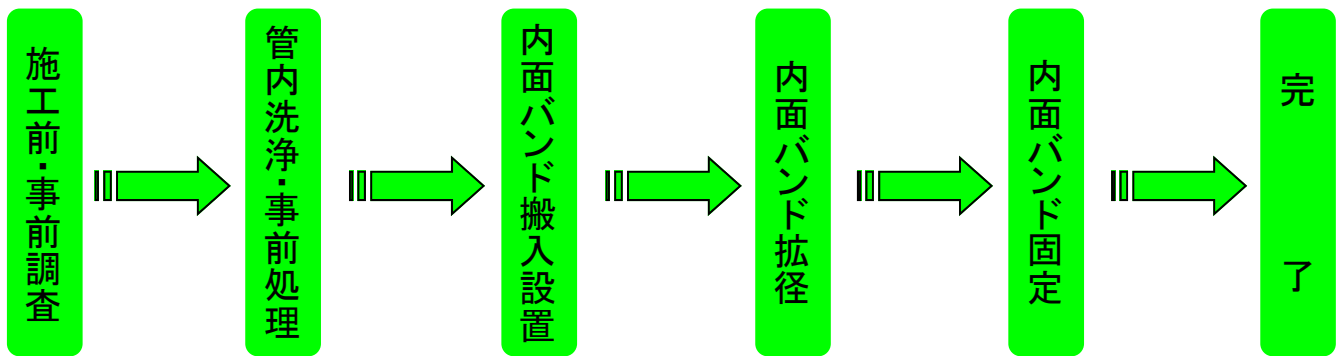
低損失水頭特性

- 端部はベルマウス形状で低損失水頭。
- SUSバンドはゴム埋め込み型で低損失水頭。

低損失水頭特性

- φ600mmのマンホールから資材搬入。
- 管径φ600mm~3,600mmの実績。
- 膝まで水が有っても施工可能。
- 管種を選ばず即施工可能。
- 人力施工で動力不要。
- 全国20,000箇所20年の実績と信頼。

● 施工の流れ



● 施工写真



施工前管内状況



内面バンド搬入設置



内面バンド拡張固定



完了

● 内面バンド施工例



BOX W1,200×H1,200



BOX W1,800×H1,500



矩形渠 W1,700×H1,000